

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 26 年 5 月 22 日 (2014.5.22)

【公開番号】特開 2012-219838 (P2012-219838A)
 【公開日】平成 24 年 11 月 12 日 (2012.11.12)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-047
 【出願番号】特願 2011-83070 (P2011-83070)
 【国際特許分類】

F 1 6 C 29/06 (2006.01)

F 1 6 C 33/76 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 29/06

F 1 6 C 33/76 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 4 月 3 日 (2014.4.3)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

軸方向に延びる転動体転動溝を有する案内レールと、該案内レールの前記転動体転動溝に対向する転動体転動溝を有し、これらの両転動体転動溝間に挿入された多数の転動体の転動を介して軸方向に沿って相対移動可能に前記案内レールに跨架されたスライダと、前記スライダの軸方向端部に前記案内レールに対して所定の隙間量を設けて取り付けられたサイドシール部材とを備えた直動案内装置であって、

前記サイドシール部材は、その内周面に前記案内レールに接触する複数の位置決め突起を備え、前記複数の位置決め突起の前記案内レールに接触する部分の前記軸方向に沿う合計長さが前記サイドシール部材の前記軸方向に沿う厚さよりも短いことを特徴とする直動案内装置。

【請求項 2】

前記複数の位置決め突起の各々が樹脂製であることを特徴とする請求項 1 記載の直動案内装置。

【請求項 3】

前記複数の位置決め突起は、前記案内レールの外周面のうち上側の前記転動体転動溝の上方の外周面に接触する部分に設けられていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の直動案内装置。

【請求項 4】

前記複数の位置決め突起は、前記案内レールの外周面のうち下側の前記転動体転動溝の下方の外周面に接触する部分に設けられていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の直動案内装置。

【請求項 5】

前記複数の位置決め突起は、前記案内レールの外周面のうち上側の前記転動体転動溝の上方の外周面に接触する部分に設けられていると共に、前記案内レールの外周面のうち下側の前記転動体転動溝の下方の外周面に接触する部分に設けられており、前記案内レールを挟んで左右対称に合計 4 つ設けられていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の直動案内装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１４】

上記目的を達成するため、本発明のうち請求項１に係る直動案内装置は、軸方向に延びる転動体転動溝を有する案内レールと、該案内レールの前記転動体転動溝に対向する転動体転動溝を有し、これらの両転動体転動溝間に挿入された多数の転動体の転動を介して軸方向に沿って相対移動可能に前記案内レールに跨架されたスライダと、前記スライダの軸方向端部に前記案内レールに対して所定の隙間量を設けて取り付けられたサイドシール部材とを備えた直動案内装置であって、前記サイドシール部材は、その内周面に前記案内レールに接触する複数の位置決め突起を備え、前記複数の位置決め突起の前記案内レールに接触する部分の前記軸方向に沿う合計長さが前記サイドシール部材の前記軸方向に沿う厚さよりも短いことを特徴としている。

また、本発明のうち請求項２に係る直動案内装置は、請求項１記載の直動案内装置において、前記複数の位置決め突起の各々が樹脂製であることを特徴としている。

また、本発明のうち請求項３に係る直動案内装置は、請求項１又は２記載の直動案内装置において、前記複数の位置決め突起は、前記案内レールの外周面のうち上側の前記転動体転動溝の上方の外周面に接触する部分に設けられていることを特徴としている。

また、本発明のうち請求項４に係る直動案内装置は、請求項１又は２記載の直動案内装置において、前記複数の位置決め突起は、前記案内レールの外周面のうち下側の前記転動体転動溝の下方の外周面に接触する部分に設けられていることを特徴としている。

更に、本発明のうち請求項５に係る直動案内装置は、請求項１又は２記載の直動案内装置において、前記複数の位置決め突起は、前記案内レールの外周面のうち上側の前記転動体転動溝の上方の外周面に接触する部分に設けられていると共に、前記案内レールの外周面のうち下側の前記転動体転動溝の下方の外周面に接触する部分に設けられており、前記案内レールを挟んで左右対称に合計４つ設けられていることを特徴としている。